

ジャイアントパンダを描こう

ねらい

○馴染みのあるパンダの姿を思い出しながらかいた絵を参加者同士が見せ合うことで、楽しい雰囲気をつくるとともに、「分かっているつもり」が意外に多いことに気付くことができる。

特徴

緊張緩和 ★★★★★☆
話題提供 ★★★★★☆
仲間作り ★★☆☆☆☆

活動の様子

(P41 参照) ④スクール型 (各自で絵を描く) → ⑧アイランド型 (感想の交流)



耳の色は、白だったかしら？ それとも黒？



「分かっているつもり」でも、意外に覚えてないものね。



【準備物等】

- ・A5判の白い紙 (各自 1 枚)
- ・鉛筆
- ・色鉛筆 (あれば)

主な流れ (例)

- ①A5判の紙に、各自が覚えているジャイアントパンダの絵を描く。(スクール型)
「みなさんご存知のパンダを、まずは相談せずに自分なりに思い出しながらかいてみてください。制限時間は 1 分です。」
※進行役は、絵の上手下手ではないことを伝え、ゲーム感覚で気軽に取り組んでもらえるような雰囲気づくりに努める。
- ②グループで、お互いの描いたパンダを見せ合い、感想を交流する。(アイランド型)
※各グループで感想を交流する前に、全体の場で、進行役自身が 1 分で描いたパンダの絵を見せ、感想を言ってもらうようにすると、各グループでも活動を行いやすい。
- ③簡単なまとめをする。(講座の内容に応じて省略可)

運営上の留意点

自分の子供の顔をテーマにして、実施しても盛り上がります。

描けない人に対しては、「時間が足りなかった」「なかなか描けないもの」など、進行役が先回りして気持ちを代弁するような言葉でフォローし、楽しい気分で活動に臨めるような雰囲気づくりに努めましょう。「見ているようで見ていないこと」などについて、楽しみながら話題にできるとよいでしょう。